

# 経営比較分析表

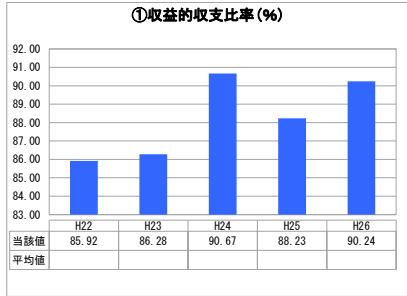
佐賀県 吉野ヶ里町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	
法非適用	下水道事業	公共下水道	Cd2	
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	58.69	100.00	3,564

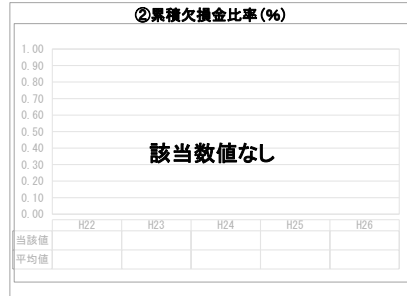
人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
16,231	43.99	368.97
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
9,468	4.24	2,233.02

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	平成26年度全国平均

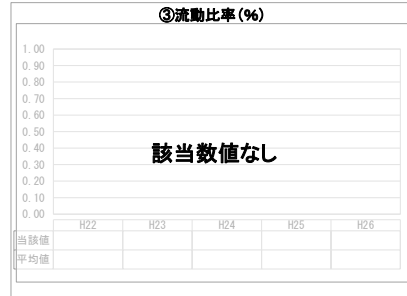
## 1. 経営の健全性・効率性



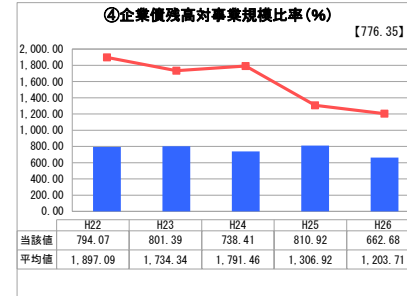
「単年度の収支」



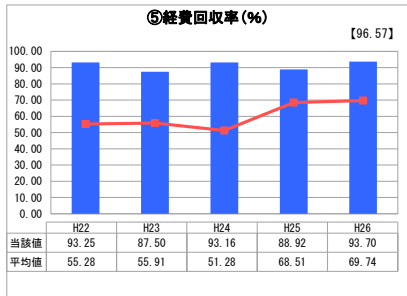
「累積欠損」



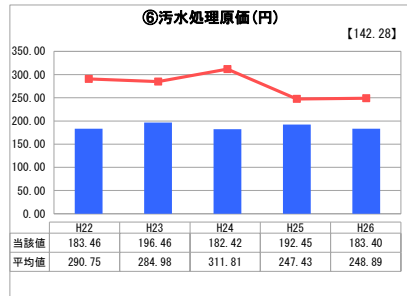
「支払能力」



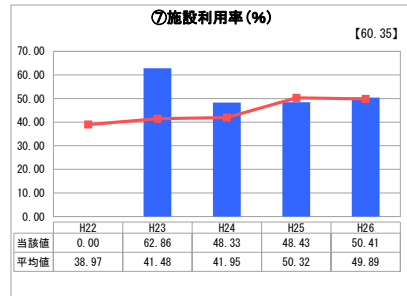
「債務残高」



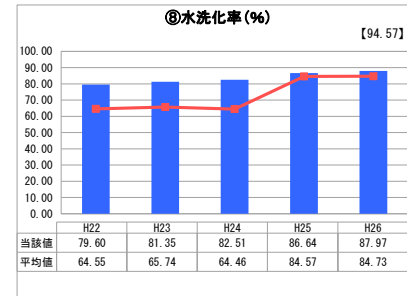
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

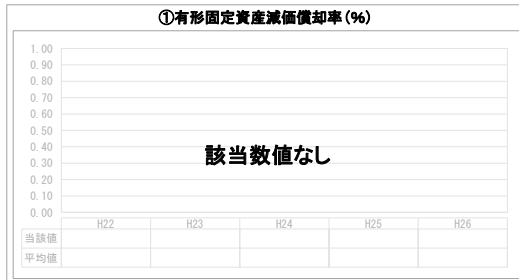


「施設の効率性」

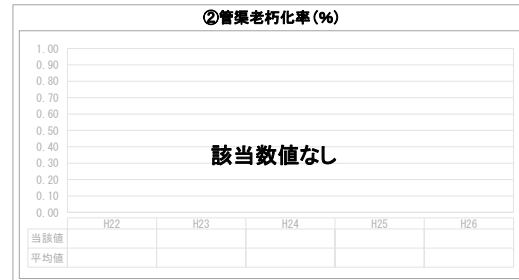


「使用料対象の捕捉」

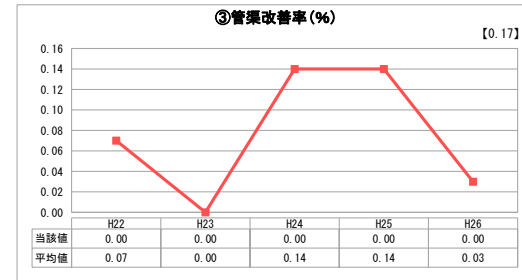
## 2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

・収益的収支比率については、90.24%となっている。経費回収率については、93.7%となっており、類似団体平均値を大きく上回っている。また、汚水処理原価についても183.4円となっており、類似団体を下回っている。これらのことから、適正な使用料体系となっていると考えられる。

・「債務残高」については、類似団体、全国平均値を下回っているが、今後、処理場の更新等を控えているので若干上昇することが予想される。

・「水洗化率」については、類似団体平均値を上回っているが87.97%と100%に達していない。地理的要因等により費用が増大する可能性があるため、費用対効果を検証しながら面整備を進め、水洗化率の向上に努める必要がある。

### 2. 老朽化の状況について

下水道管渠については、埋設して20年が経過しているが、法定耐用年数を超えたものはない。早急な管更新等の必要はないものの、日常のメンテナンス、管理を行う必要がある。

## 全体総括

経費回収率、汚水処理原価については、類似団体平均値より優れているものの、料金収入だけでは汚水処理に要する経費を賅っていない。よって、将来の事業継続に向けて、更なる経費の削減及び企業の下水道接続の促進を図りながら、安定した下水道運営に努める必要がある。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成22年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。